

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		乗用車販売店（従業員）	・現状の勢いで客が増え続けると、秋の新型車の売行きは良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・8月末に新型車の発売が予定されており、打診も多少あることから、それに期待している。
	変わらない	美容室（経営者）	・毎月キャンペーンなどを企画し、店内も整備充実してきた結果、来客数も増えてきており、今後は良くなっていく。
		商店街（代表者）	・現在、既に秋冬物商品が入荷しているが、これらの商品に目立った特徴が感じられず、売上にはつながらない。
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・売上にまだまだ下げ止まりの気配が漂ってこない。
		百貨店（売場主任）	・秋物商戦を迎えるが、今の購買意欲からみて回復は難しい。必要な物を必要な時に買う傾向が強く、新商品をすぐに買う状況ではない。
		百貨店（総務担当）	・館内に競合店のキャリーバッグを持っている客が増えた。競合店も売上が伸びていないことから、バーゲン商戦で客が買い回りしていることが分かる。何軒も回って、最終的に購入する慎重な購買態勢は変わっていない。
		スーパー（企画担当）	・季節商品の動きは近年になく良く、来客数も4%弱上回っているが、逆に客単価は若干マイナス傾向にある。全体的な傾向は今後も変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・来客数、客単価とも低調な状況が続き、回復の兆しがみえない。夏物衣料も単価の低いカットソー、ブラウス等が中心で、客単価が上昇しない。
		家電量販店（店長）	・オリンピック景気と猛暑の影響で、売上は上がっているが、その反動で、オリンピック以降は不透明である。
		一般レストラン（経営者）	・来客数は増えているが、客単価は低く、低価格品でないと売れない傾向がしばらく続きそうである。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況は、ほとんど動きがない。単価は低落する予測で、客数が持ち直しても、景気自体は変わらない。
		旅行代理店（従業員）	・7月は比較的好調に推移しており、3か月後も大きく変わる様相はなく、このまま推移していくとみている。
		タクシー運転手	・秋は四国八十八カ所参りのシーズンで、お遍路さんは多くなる見込みだが、タクシーで回る人は少ない。普段が悪い分、多少カバーできるが、現状維持が精一杯である。
通信会社（営業担当）	・新商品を発売しても需要拡大はあまり期待できない。		
ゴルフ場（従業員）	・シーズンを迎えるにもかかわらず、予約状況はまだ弱く、現在の状況と変わらない。		
やや悪くなる	設計事務所（所長）	・新しい分譲マンションの販売が、ここ当分出ていない。	
	その他住宅〔不動産〕（経営者）	・土地の値下がりはまだ続くと思われるので、しばらく景気が良くなるとは考えられない。	
	商店街（代表者）	・郊外ショッピングセンターのシネコンが開店し、既存の中心商店街では映画館が1館閉館するという暗いニュースがある。空き店舗も多くなってきて、商店街はますます厳しくなる時代を迎えている。	
悪くなる	一般小売店〔生花〕（経営者）	・大型店に客足が向いており、専門店への客足が鈍っている。	
	住宅販売会社（従業員）	・金利上昇の影響で、自己資金の少ない客がローンを組みにくくなっている状況であり、買控えが続く見込みである。	
	-	-	
企業 動向 関連	良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・季節要因である秋需要に、新規の顧客開拓や新商品の販売効果が加わり、受注量が大きく増加する。
	やや良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・製薬、食品、機械関連の企業で、徐々に設備更新が行われ始めている。
		輸送業（役員）	・荷主である企業から、販売に関する悪い材料はここ数か月は聞こえなくなってきた。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・現状では良くなる材料がなく、トイレトペーパーはまた価格が下落し、市場が悪化している。
		化学工業（営業所長）	・中国需要等で原材料価格が上昇し、価格修正を行っているが、エンドユーザーへの価格転嫁は難しく、このままでは収益面で厳しい局面を迎えざるを得ない。

		一般機械器具製造業 (経理担当)	・首都圏を含め、各地のクレーンの稼働状況が前年に比べ悪くなっている。また、リース料金も底割れ状態で、ユーザーの設備投資意欲は低くなっており、この状態がしばらく続く。
		輸送業(支店長)	・原材料の高騰や、燃料の値上げ分を価格に転嫁しづらいため、ボディフローがじわじわ効いてくるのではないかと心配している。
		金融業(融資担当)	・公共土木工事が削減されており、また産業構造の変革が進んでいないことから、景気回復は今後も厳しい。
		広告代理店(経営者)	・新聞の求人広告は、相変わらず派遣労働業種の求人が目立ち、正社員の募集は埋没している。
	やや悪くなる	建設業(経営者)	・最近、同業者が会社を整理した。公共、民間工事とも競争が激化する見込みであり、ますます厳しくなる。
		不動産業(経営者)	・来客数の減少に加え、賃貸、売買とも客が求めている単価が低くなっている。
	悪くなる	建設業(総務担当)	・受注量が激減し、それに伴い、工事の奪い合いが激しくなり、採算割れの工事が当面続く。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社(支店長)	・今年の夏は猛暑が続いており、電力系及びエアコン、飲料あたりからのニーズが増えてくる見込みである。
	変わらない	職業安定所(職員)	・新規求職者数は前年比で増加しており、求職意欲は高いが、自分が納得する求人条件があるまで待っている傾向が強い。
		職業安定所(職員)	・新規求人数は警備員や営業、臨時求人の増加から、前年同月比で1割増となったが、新規求職者数も前年同月比で1割増となっており、雇用情勢に改善の兆しを感じられない。
		学校[大学](就職担当)	・企業の採用形態が新卒、新人に集中せず、多様な人材を採用している様子がうかがえ、新卒採用に期待感が持てない。
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-	